

## 静岡県産業成長戦略 2023 骨子（案）

## 基本理念

【経産ビジョン R4～R7】

## 東京時代から静岡時代へ

～新しい生産と消費の循環でSDGsを達成～

コロナ禍に対応した特例措置・支援の終了を見据え、**新常態において成長を目指す出口戦略を本格化**

## R5の重点テーマ

**ポストコロナの足取りを確かなものに  
～世界から選ばれる「静岡時代」の実現へ～**

## I 直面する課題と対応方針

## 【本県を取り巻く課題】

- **人口減少・少子高齢化の進行** 市場収縮・事業承継、人手不足
- **デジタル化の進展** 産業構造転換、人材確保・育成
- **脱炭素社会の構築** カーボンニュートラル、循環経済
- **コロナ禍による社会変容** 事業再構築・再生、地方回帰
- **グローバル化の進展** 食料安全保障、サプライチェーン多元化
- **事業リスクの多様化** 災害激甚化、国際情勢流動化

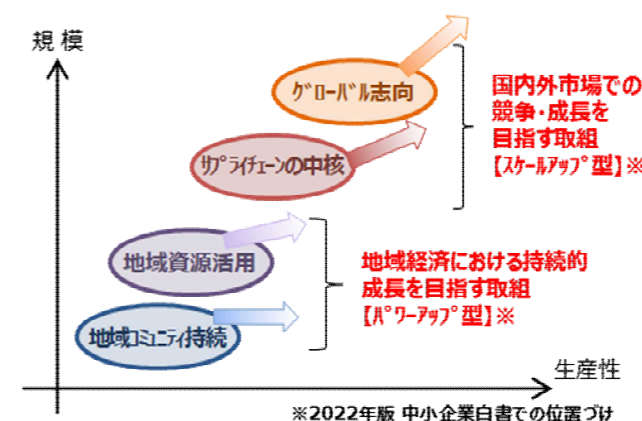
## 【直近の社会・経済動向】

- **新型コロナウイルス・対策**
  - ・ 8月には、過去最大の感染再拡大。社会経済活動との両立が急務
  - ・ **ゼロゼロ融資等の支援により、倒産・廃業は抑制されてきたが、R5年中盤から返済本格化。返済負担軽減と本業回復が喫緊の課題**
  - ・ 国は、雇用調整助成金の特例措置を段階的に縮小の方針。中小事業者への影響が懸念される一方、成長分野への労働移動遅れのジレンマも
- **経済・雇用情勢**
  - ・ **本県経済は基調としては持ち直しているが、物価高騰（原油、食料品、肥料・飼料等）の影響が幅広い業種・業態に波及・拡大**
  - ・ 雇用環境は改善の動きを継続。有効求人倍率は1倍台を持続。飲食・サービス業等、幅広い業種で求人数回復
  - ・ 民間企業の設備投資意欲は高いが、R4年度はコロナ禍等の影響から実行段階で様子見も。R5年度計画は、需要持ち越しにより高水準
- **多様化する事業リスク**
  - ・ **カーボンニュートラルへの取組が求められる中、国際情勢を背景としたエネルギーや食料需給の不安定化が長期にわたる懸念**
  - ・ **穀物の不作、海外情勢の不安定化、急激な円安等、複合的な要因による物価上昇。一次産業、中小事業者には価格転嫁が大きな課題**
  - ・ 下請け企業経由のサイバー攻撃、大規模な通信障害等、“つながる”リスクが顕在化

## II 戦略的な施策展開

経済雇用	経済活動が持ち直し基調にある中、投資意欲回復の動きを着実に成長に繋げる取組を展開	成長支援 施策1	(1)国内外市場での競争・成長を目指す取組への支援 (スケールアップ型)	(2)地域経済における持続的成長を目指す取組への支援 (パワーアップ型)
	リスク多様化		様々なリスクが複合的に発生する中、足元の課題とともに、長期的な課題への取組を進めることが必要	環境整備 施策2

## 施策1イメージ



## 【施策の体系】

成長の方向性に合わせた支援 【施策1】	(1)国内外市場での競争・成長を目指す取組への支援 (スケールアップ型)	(2)地域経済における持続的成長を目指す取組への支援 (パワーアップ型)
	①本県経済を牽引する産業・分野への重点投資 ②デジタルを中心とした先端的な知識と技術を持つ人材の確保・育成 ③DXによる付加価値創造と継続的な設備投資の促進	①域内での消費拡大と域外需要の取込み ②ブランド力強化による観光・交流の回復 ③多様な消費・生活様式の実現と地域活性化の推進
成長を支える環境整備 【施策2】	①エネルギーの多様化と脱炭素化に向けた着実な取組 ②産業人材の確保・育成 ③産業の強靱化	

## 【議論の進め方】

- **施策1の議論**  
・ **産業成長戦略会議席上で議論**
- **施策2の議論**  
・ **産業成長戦略会議とは別に検討し、戦略に反映**

## (1) エネルギーの多様化と脱炭素化に向けた着実な取組

会議名	ふじのくに未来のエネルギー推進会議（1月下旬）
メンバー	学識経験者（県内大学等）、事業者等（（社団）静岡県環資協、静岡ガス（株）、中部電力（株））

## (2) 産業人材の確保・育成

会議名	産業人材確保・育成対策県民会議（12月頃）
メンバー	産業界（（一社）経営者協会、（一社）商工会議所連合会等）、労働界（労組静岡県連合会等）、教育界、行政

## (3) 産業の強靱化

- 産業支援機関や金融機関、有識者等へのヒアリング
- 県内中小企業に対する実態調査（アンケート）

会議名	中小企業・小規模企業振興会議（10月21日）
メンバー	中小企業等（商工団体推薦）、支援機関（商工会連合会、（一社）商工会議所連合会、中小企業団体中央会等）、行政

### Ⅲ 主な取組

#### [施策1] 成長の方向性に合わせた支援

##### (1) 国内外市場での競争・成長を目指す取組への支援（スケールアップ型）

###### ① 本県経済を牽引する産業・分野への重点投資

- ◎ 本県経済を強力に牽引するリーディング産業の育成
  - ・プロジェクト間の連携による新たな価値の創出
  - ・先端産業創出プロジェクト等の深化  
(ファルマ、FHCaOI、フoton、次世代自動車、CNF、AOI、ChaOI、FAOI、MaOI)
  - ・データ活用で新たな観光の価値を生む DX の推進
- ◎ GX（グリーン・トランスフォーメーション）への重点投資
  - ・エネルギー関連産業の創出・拡大
  - ・環境ビジネスの参入拡大



次世代自動車

###### ② デジタルを中心とした先端的な知識と技術を持つ人材の確保・育成

- ◎ 階層に応じたデジタル人材の確保・育成
  - ・イノベーション拠点をハブとした ICT 人材の交流・集積
  - ・デジタル化に対応できる技術の習得支援



DX推進講座

###### ③ DX による付加価値創造と継続的な設備投資の促進

- ◎ 新たな課題解決のための研究環境整備
  - ・デジタル化・脱炭素化に向けた分野横断型研究促進
- ◎ スタートアップ支援の体制拡充
  - ・創業支援機関・施設のネットワーク化、学生・若者向け起業家育成
- ◎ 企業誘致・定着の促進
  - ・地域中核企業の集積、国内回帰への対応、事業用地の供給促進



富士大淵工業団地

##### (2) 地域経済における持続的成長を目指す取組への支援（パワーアップ型）

###### ① 域内での消費拡大と域外需要の取り込み

- ◎ 市場と生産が結びついた「ふじのくにマーケティング戦略」の推進
  - ・首都圏や「バイ・山の洲」を中心とした販路開拓と流通体制の構築
  - ・需要に応じた生産・商品開発
  - ・マーケットインによる「輸出産地」の形成



静岡伊勢丹でのさくらんぼ直売

###### ② ブランド力強化による観光・交流の回復

- ◎ しずおか感動体験ツーリズムの確立
  - ・ガストロノミーツーリズム推進・体制充実
  - ・歴史・文化資源の活用
  - ・体験型インバウンド商品開発、受入環境整備



久能山東照宮

###### ③ 多様な消費・生活様式の実現と地域活性化の推進

- ◎ 地域の魅力を活かしたブランド強化と新たなモデル構築
  - ・県産食材・食文化のブランド力強化（ガストロノミーツーリズム）
  - ・花緑と先端技術の融合によるデジタル田園都市の実践
- ◎ 温泉を核としたヘルスケアサービスの創出（ICOI プロジェクト）
- ◎ 地域を支える中小企業の付加価値向上
  - ・中小企業の経営力向上、県内企業のデザイン活用推進
  - ・地場産業の新結合、市町と連携した商店街の空き店舗活用支援



県産食材の魅力発信  
仕事人レストランフェア

#### [施策2] 成長を支える環境整備

##### ① エネルギーの多様化と脱炭素化に向けた着実な取組

- ◎ エネルギーの多様化の推進（再生可能エネルギーの導入拡大、脱炭素エネルギー導入）
- ◎ 企業の脱炭素化支援（企業脱炭素化支援センターや次世代自動車センター浜松による支援）
- ◎ 産業分野におけるカーボンクレジットの活用（農林水商工業におけるJ-クレジット、ブルーカーボンの申請支援）

##### ② 産業人材の確保・育成

- ◎ 新しい働き方の実践、就業者の確保・育成（テレワークの普及促進、UI ターン就職支援）
- ◎ 社会増につながる就業拡大（ICT 企業誘致、マザー工場・拠点化工場の立地促進）

##### ③ 産業の強靱化

- ◎ 持続可能な地域経済の実現（コロナ出口戦略を見据えた中小企業の事業再構築・再生支援）



## 参考：産業成長戦略2022

### (1) 新たな広域経済圏「山の洲」の形成

- ◎ 「バイ・山の洲」の展開(農林水産品の域内完結型サプライチェーンの構築)
- ◎ 新たな物流・商流・情報流の構築  
(中部横断道、清水港等のインフラ活用)
- ◎ 観光分野における「ふじのくに経済圏」づくり

### (2) リーディング産業への重点投資

(データとデジタル技術で構造転換)

- ◎ プラットフォームの構築  
(ヘルスケア分野、輸送用機器分野、素材分野、基盤技術の産業応用、農業分野、海洋・水産分野)
- ◎ リーディングセクターの競争力強化  
(医薬品・医療機器、ヘルスケア、観光)
- ◎ デジタル人材の確保・育成

### (3) 企業誘致と県内への定着

- ◎ マザー工場・研究所立地推進
- ◎ 実証フィールドの形成促進
- ◎ 工業用地の確保
- ◎ 首都圏 ICT 企業の誘致

### (4) 新たな生活様式を踏まえた個人消費の拡大

- ◎ 新しい働き方の実践 (テレワーク、多様な勤務制度)
- ◎ 生活空間の拡大 (移住促進、県産材利用促進)
- ◎ 人々を惹きつける豊かな地域資源の新結合  
(農芸品のブランド力強化、美しく活力ある農村の創造)

### (5) 環境と経済成長が両立した循環型社会への移行

- ◎ 脱炭素型産業構造への転換 (ふじのくにエネルギー総合戦略)
- ◎ 中小企業の脱炭素化への支援
- ◎ サーキュラーエコノミー (循環経済) への対応

### (6) 成長分野・領域への投資促進(中小から中堅企業へ)

【グローバル型・サプライチェーン型】

- ◎ オープンイノベーションの推進  
(しずおか産業創造プラットフォーム、大学発ベンチャー支援)
- ◎ 研究開発の推進、人材への投資 (企業内人材の再教育)
- ◎ 継続的な設備投資の促進  
(地域経済牽引事業計画・経営革新計画、スマートファクトリー化)

### (7) 中小・小規模企業の事業再構築・再生による

経営の強靱化 【地域資源型・地域コミュニティ型】

- ◎ 事業の付加価値向上(小売、サービス・観光業等の生産性向上、創業支援)
- ◎ 事業継続への支援 (計画策定促進、資金繰り支援、第三者承継)

### (8) 中小企業の事業継続に向けた強靱化

- ◎ 人材の確保・育成 (移住・UI ターン促進、在職者訓練)
- ◎ BCP 策定促進 (自然災害・感染症)